

## 県内経済は、公共投資や住宅投資が低い水準にあり、全体的に弱い動きがみられる。

### 1. 県内経済動向 (2024年11月の統計資料などを基に取りまとめたものです。)

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	消費動向は、百貨店・スーパー、ドラッグストア、コンビニの販売額合計が前年同期を上回っている。投資動向は、設備投資と住宅投資が前月に続き前年を大きく下回っており、公共投資も低い水準が続いている。	→	☁
消費動向	消費動向は、百貨店・スーパー、ドラッグストア、コンビニの販売額がいずれも前年同月比増加しており、合計で2カ月ぶりに前年を上回った。乗用車販売台数は、新車と中古車ともに前年比減となり、合計で4カ月連続で前年を下回った。	→	☁
公共投資	公共投資は、公共工事前払保証請負金額が県土木部で前年同月比18億円増加するなど、前年同月比+11.2%と増加し2カ月ぶりに前年を上回った。ただし、発注額は低い水準が続いている。	→	☂
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数と床面積、工事費予定額がいずれも前年を下回った。工事費予定額は、前年同月比で「卸売業・小売業用」+26億円と大きく増加するも、「製造業用」△89億円と「教育、学習支援業用」△20億円などで大きく減少し、全体として前年同月比96億円減少した。	↘	☀☁
住宅投資	新設住宅着工戸数は4カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、「持家」が前年比△10.4%、「貸家」が同△58.2%、「分譲」が同△58.0%といずれも大きく前年を下回った。「持家」は5カ月連続、「貸家」は4カ月連続、「分譲」は2カ月連続での前年同月比減となった。	↘	☂
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が104.6で前月比+5.1%となった。業種別にみると、前月比低下が「印刷業」(前月比△15.2%)など5業種に対し、前月比上昇が「非鉄金属工業」(同+26.4%)、「食料品工業」(同+13.4%)など14業種となり、全体で前月を上回った。	→	☁
雇用動向	有効求人倍率は季節調整値が1.25倍で前月比横ばいとなった。新規求人数は前年同月比で「宿泊業、飲食サービス業」などの業種で増加する一方、「運輸業、郵便業」などは減少している。雇用保険受給者実人員は前年比△2.4%と3カ月ぶりに前年を下回った。	→	☁

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗：改善、→：不変、↘：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は10月データ。

注5：鉱工業生産指数の季節調整済指数、有効求人倍率の季節調整値は、月による稼働日数の違い、正月や年度末の決算などの社会慣習など、季節変動の影響を取り除くことで前月や前々月との比較を可能にしたもの。

(天気図(水準)の意味)				
晴	れ	曇	り	雨
良		悪		

電子ブック版では目次記載の全ての記事をご覧ください。



## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2024年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	△ 0.5	△ 5.3	△ 0.5	△ 1.0	△ 3.7	0.3
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	1.2	△ 2.1	△ 1.6	△ 1.7	0.1	0.2
	ドラッグストア販売額（全店舗）	8.8	6.3	5.9	5.6	4.0	5.8
	乗用車販売台数	△ 10.9	5.2	△ 7.7	△ 2.2	△ 0.5	△ 2.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	13.4	△ 0.4	1.0	9.6	△ 16.3	11.2
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	335.5	89.4	△ 20.7	187.3	△ 15.7	△ 43.5
住宅投資	新設住宅着工戸数	9.9	9.1	△ 29.7	△ 2.1	△ 51.0	△ 40.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 3.4	2.1	△ 2.7	△ 6.0	0.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.14	△ 0.14	△ 0.12	△ 0.12	△ 0.13	△ 0.13
	雇用保険受給者実人員	2.8	9.9	0.0	4.7	2.6	△ 2.4

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2024年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	△ 3.9	1.4	7.6	△ 11.0	2.2	1.1
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 1.3	6.7	1.9	△ 9.1	3.3	△ 4.4
	ドラッグストア販売額（全店舗）	4.5	2.0	2.2	△ 4.4	△ 4.3	1.2
	乗用車販売台数	△ 4.1	9.1	△ 19.3	23.0	3.2	△ 6.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	67.4	△ 20.0	△ 39.0	2.9	△ 4.7	△ 53.1
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	181.7	△ 54.1	△ 49.5	116.8	△ 20.2	△ 25.7
住宅投資	新設住宅着工戸数	17.9	10.5	△ 36.5	39.1	△ 55.2	57.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.3	△ 0.9	0.1	△ 3.5	5.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.02	0.01	△ 0.01	0.01	0.00	0.00
	雇用保険受給者実人員	1.5	11.3	△ 5.5	△ 2.2	△ 1.8	△ 9.3

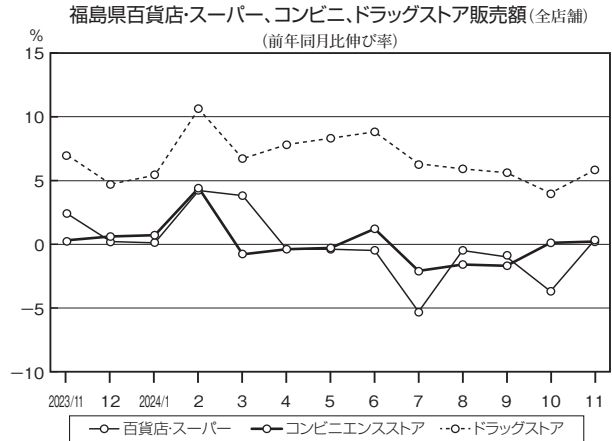
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

#### 百貨店・スーパーとコンビニ、ドラッグストアがいずれも前年比増

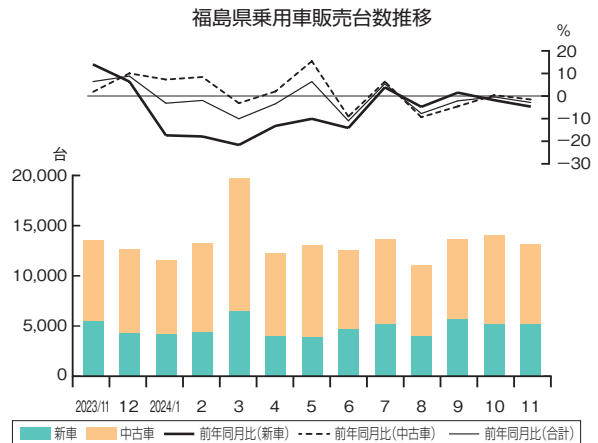
11月の百貨店・スーパーの販売額は229億16百万円（前年同月比+0.3%）、コンビニエンスストアが169億55百万円（同+0.2%）、ドラッグストアが109億49百万円（同+5.8%）といずれも前年を上回った。なお、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は508億20百万円（同+1.4%）と2カ月ぶりに前年を上回った。



（資料：経済産業省）

#### 乗用車販売：4カ月連続で前年比減

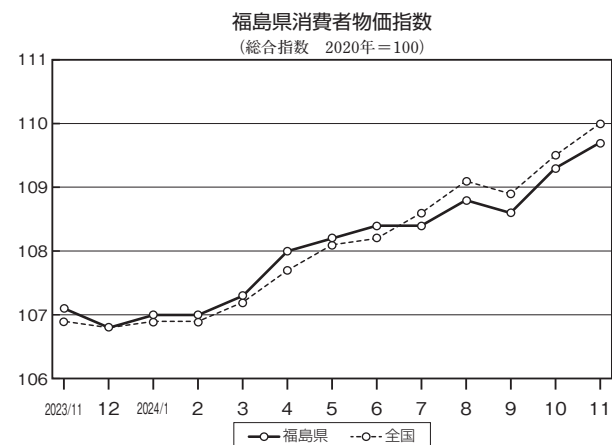
11月の乗用車販売台数をみると、新車が5,171台（前年同月比△4.7%）、中古車が7,970台（同△1.6%）、合計が13,141台（同△2.9%）となり、4カ月連続で前年を下回った。新車は2カ月連続で前年を下回っており、普通車が前年同月比+2.8%と前年比増となったものの、小型車が同△16.3%、軽乗用車が同△5.8%と前年比減となった。



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会福島県支部、（一社）全国軽自動車協会連合会）

#### 消費者物価指数：前月比・前年比とも上昇

11月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が109.7で前月比+0.3%、前年同月比+2.4%。費目別に前月比で見ると、「水道・光熱」の114.6（前月比+2.4%）など5費目で上昇し、「家具・家事用品」の120.5（同△0.3%）など2費目で低下した。



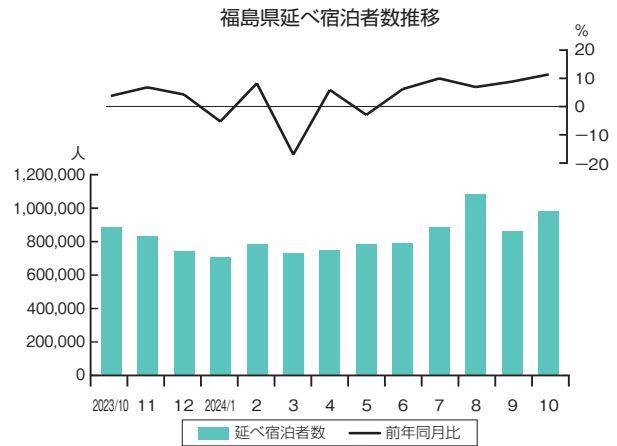
（資料：総務省統計局）

## 観光

※延べ宿泊者数は10月データ

### 延べ宿泊者数：5カ月連続で前年比増

10月の延べ宿泊者数は、984,280人（前年同月比+11.2%）と5カ月連続で前年を上回った。このうち、外国人延べ宿泊者数は36,890人（同+40.9%）と24カ月連続で前年を上回っている。

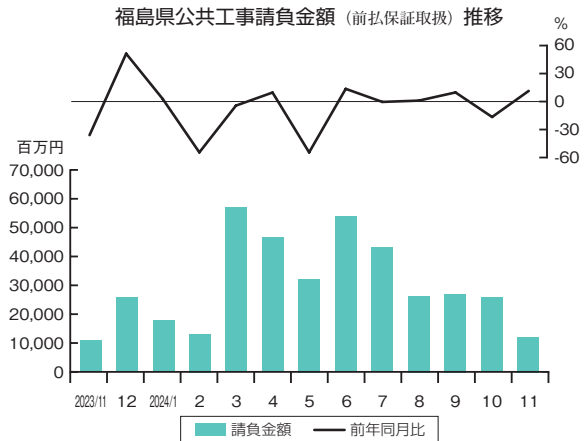


(資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」)

## 公共投資

### 公共工事：件数・保証金額が前年比減、 請負金額が前年比増

11月の公共工事前払保証取扱は、件数が382件（前年同月比△4.3%）、保証金額が55億45百万円（同△5.4%）と前年を下回ったが、請負金額が122億5百万円（同+11.2%）と前年を上回った。請負額の発注者別では、県土木部で前年同月比18億円増加した。

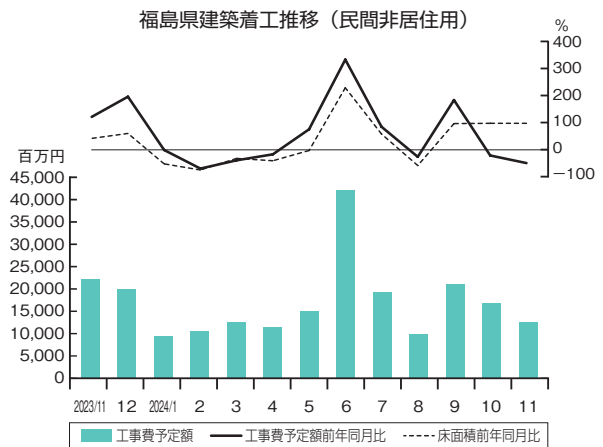


(資料：東日本建設業保証(株))

## 設備投資

### 設備投資：棟数・床面積・工事費予定額が いずれも前年比減

11月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が108棟（前年同月比△5.3%）、床面積が48,307㎡（同△14.6%）、工事費予定額が124億83百万円（同△43.5%）といずれも前年を下回った。工事費予定額を用途別にみると、「製造業用」や「教育、学習支援業用」などで前年比大きく減少している。

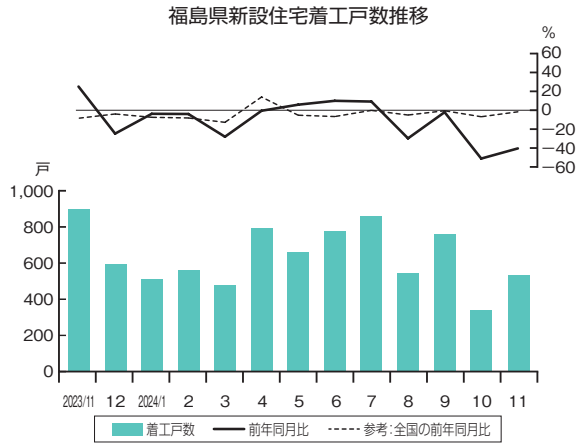


(資料：国土交通省)

## 住宅投資

### 住宅建設：4カ月連続で前年比減

11月の県内新設住宅着工戸数は536戸（前年同月比△40.3%）と4カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が277戸（同△10.4%）、「貸家」が136戸（同△58.2%）「分譲住宅」が111戸（同△58.0%）といずれも前年を下回った。



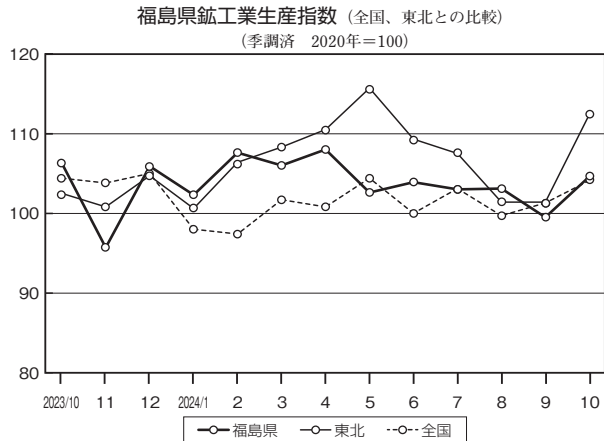
(資料：国土交通省)

## 生産活動

※ 鉱工業生産指数は10月データ

### 鉱工業生産指数：前月比・前年比とも上昇

10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が104.6（前月比+5.1%）、原指数が109.1（前年同月比+0.1%）となった。業種別の季節調整済指数前月比をみると、「非鉄金属工業」（前月比+26.4%）など14業種で上昇し、「印刷業」（同△15.2%）など5業種で低下した。

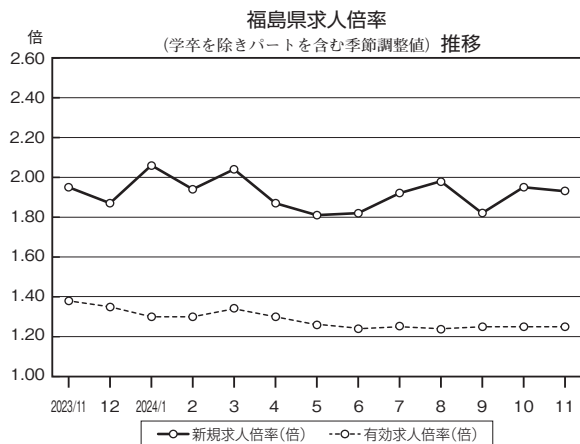


(資料：福島県企画調整部統計課)

## 雇用動向

### 雇用動向：有効求人倍率は前月比横ばい

11月の新規求人倍率は、季節調整値が1.93倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が2.19倍（前年同月比±0.00ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.25倍（前月比±0.00ポイント）、原数値が1.33倍（前年同月比△0.13ポイント）となった。また、10月の雇用保険受給者実人員は5,990人（前年同月比△2.4%）と3カ月ぶりに前年を下回った。

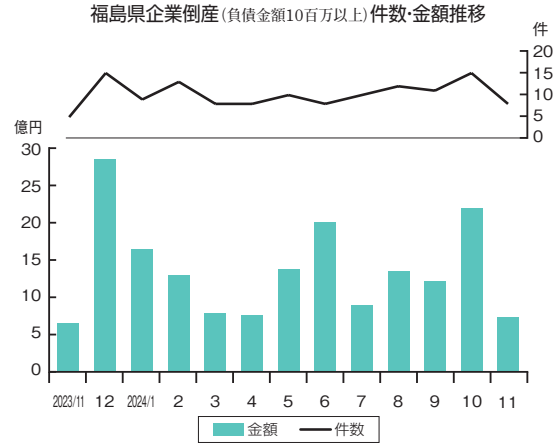


(資料：福島労働局職業安定部)

## 企業倒産

### 企業倒産：件数・金額ともに前年比増

11月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が8件（前年同月比+60.0%）、負債総額が7億29百万円（同+12.8%）。業種別では「小売業」が3件、「サービス業」が2件、「建設業」「製造業」「運輸・通信業」が各1件となった。

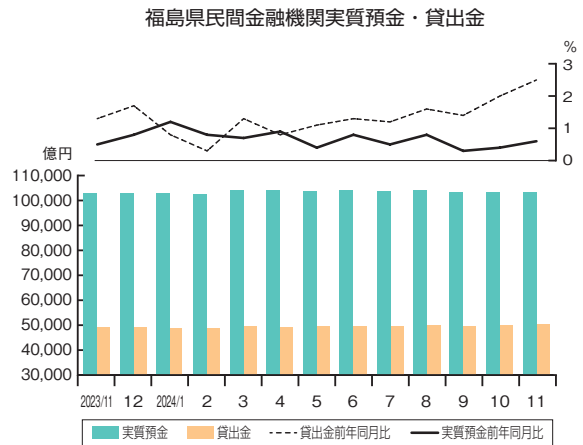


(資料：㈱帝国データバンク福島支店)

## 金融動向

### 資金需給：預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の11月末の実質預金残高は10兆3,561億円（前年同月比+0.6%）、貸出金残高は5兆235億円（同+2.5%）といずれも前年比増加した。

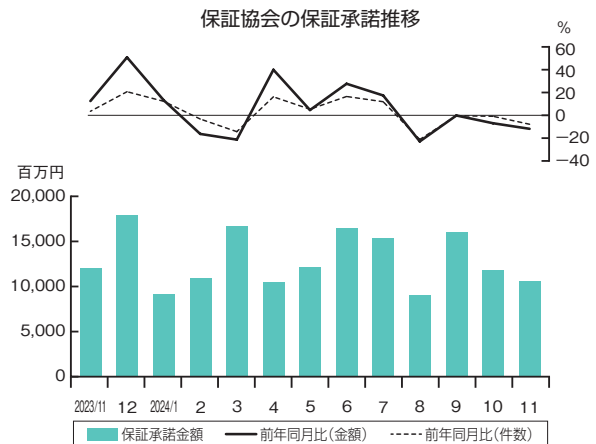


(資料：日本銀行福島支店)

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。

### 保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

11月の保証承諾は、件数が675件（前年同月比△8.0%）、保証金額が105億64百万円（同△12.0%）。11末日現在の保証債務残高は、件数40,585件（同△4.0%）、金額5,005億50百万円（同△6.3%）。一方、11月中の代位弁済は、件数が63件（同+57.5%）、金額が8億72百万円（同+66.4%）。



(資料：福島県信用保証協会)